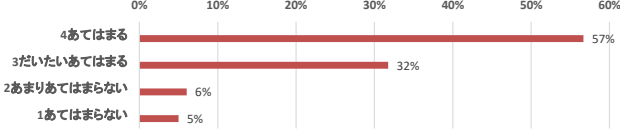
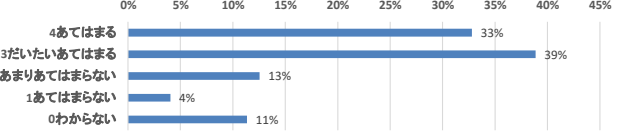
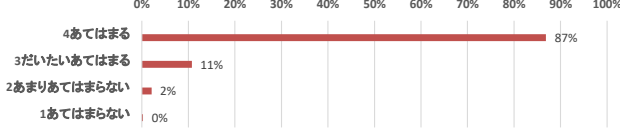
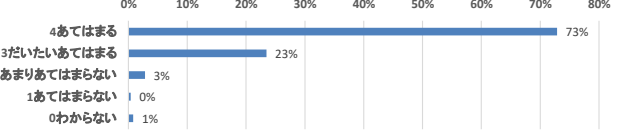
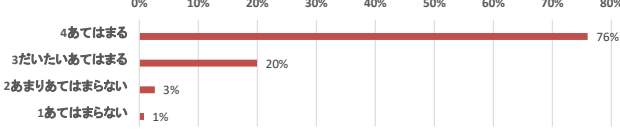
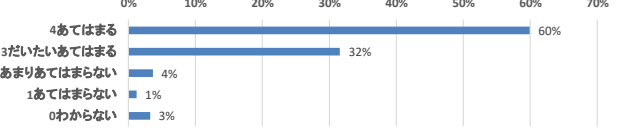
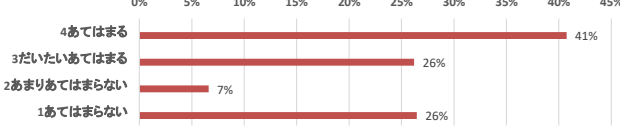
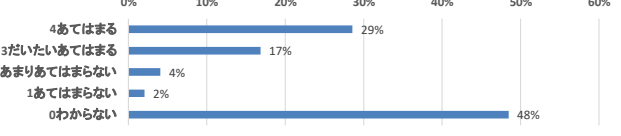
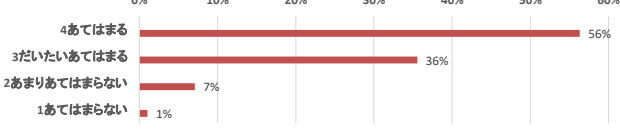
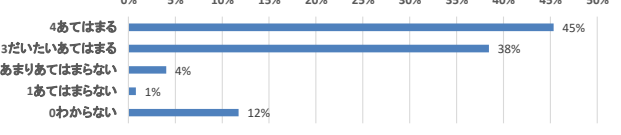
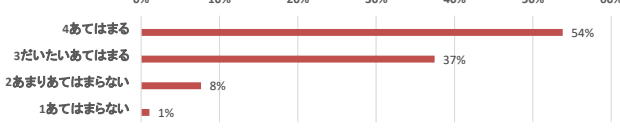
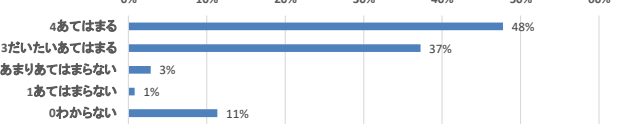
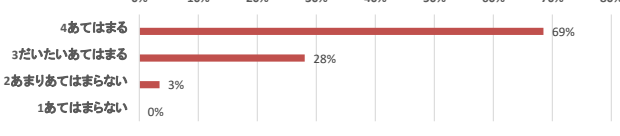
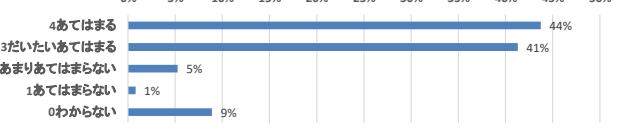
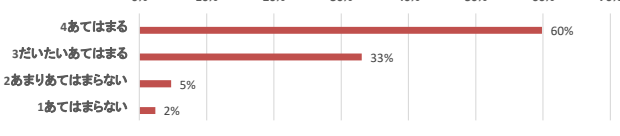
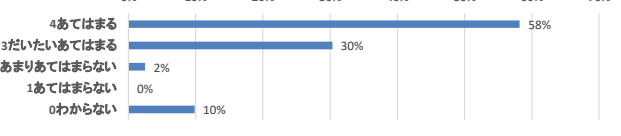
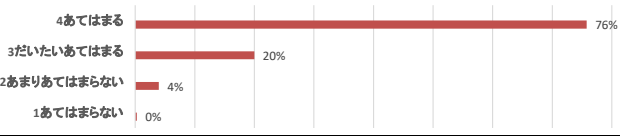
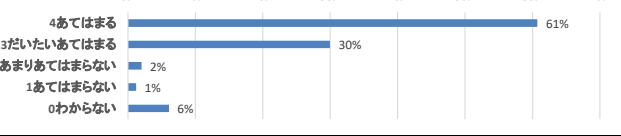
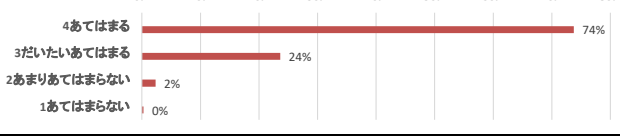
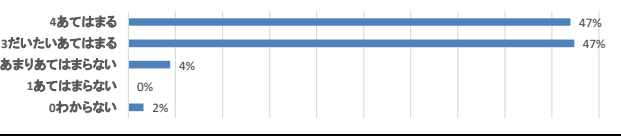
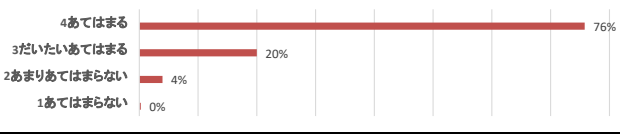
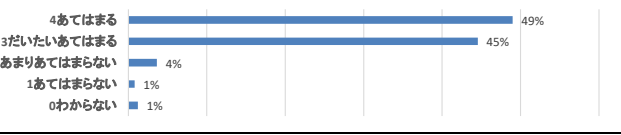
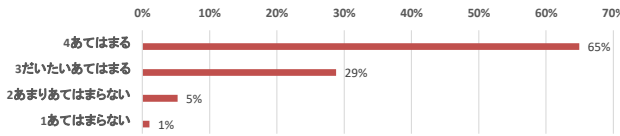
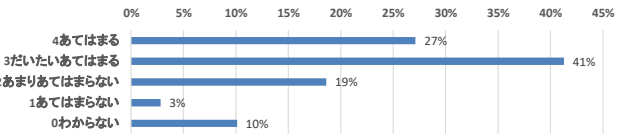
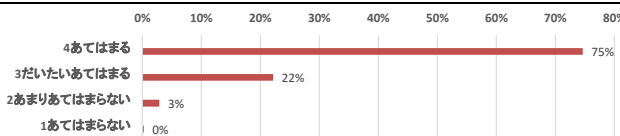
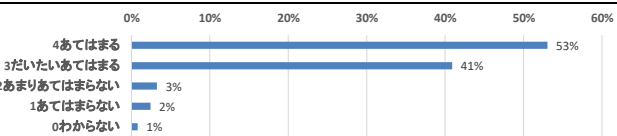
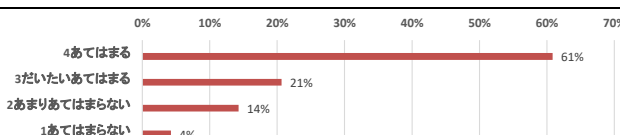
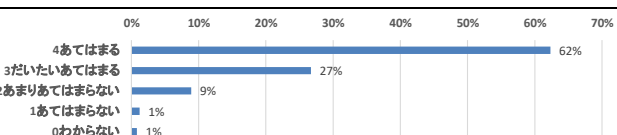
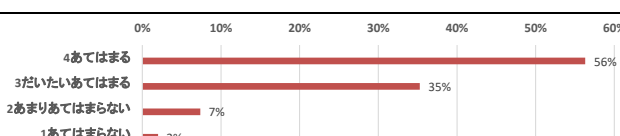
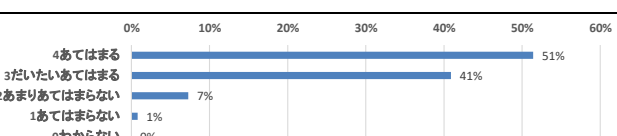
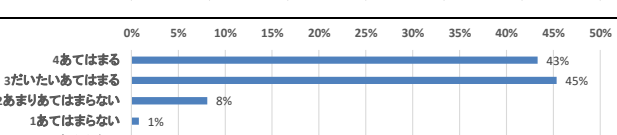
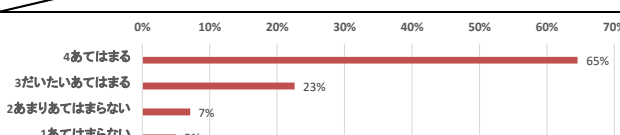
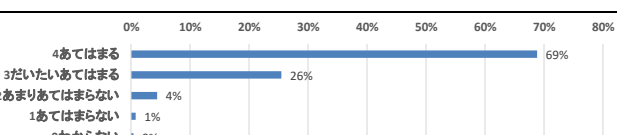
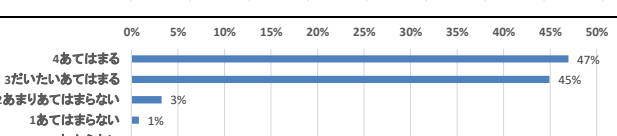
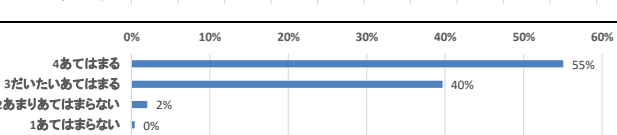
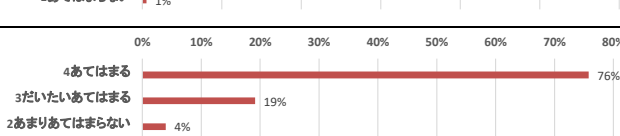
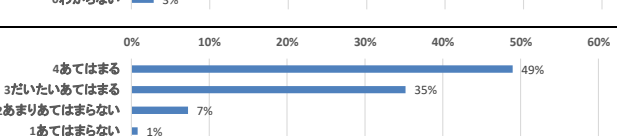
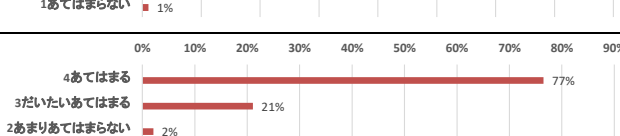
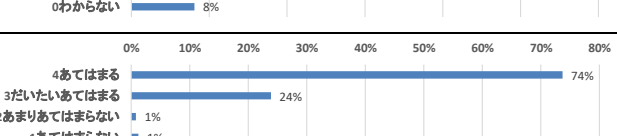
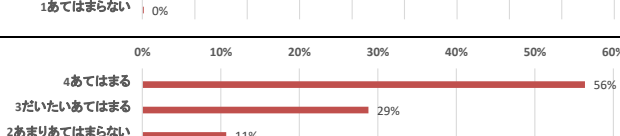
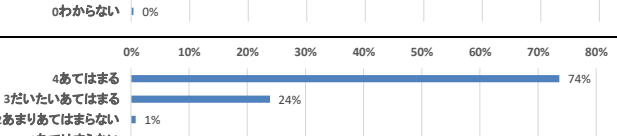


令和4年度 第2回学校評価 児童・保護者アンケート結果及び検討の方向性

住吉小学校では、7月と11月に児童・保護者・教職員による学校評価アンケートを行っています。このアンケートは、本年度重点を置いて行っている教育活動の状況について振り返り、年度の後半及び、次年度の教育活動を改善・充実させるためのものです。今回は、11月に実施したアンケート結果をお知らせするとともに、いただいたご意見を踏まえた3学期以降の取り組みについてお知らせします。

重点目標		項目	具体的方策	児童アンケート項目	児童アンケート結果	肯定的な意見	保護者アンケート項目	保護者アンケート結果	肯定的な意見
1	西東京市GIGAスクール構想に基づく教育の推進	1タブレットパソコンを活用した教育活動	発達段階に応じて、一人1台のタブレットパソコンを用いて、児童に考えさせたり、対話・交流させたり、表現させたりする活動を充実させる。	タブレットパソコンを使って、自分の考えを伝えたり、ほかの人と交流したりすることができますか。		89%	児童は、タブレットパソコンを使って、自分の考えを伝えたり、ほかの人と交流したりすることができている。		72%
		2情報活用能力の向上	タブレットパソコンの利用を通して、情報機器の基礎的な操作を身に付けさせる。	(低)タブレットパソコンでログインしたり、クラスルームを使ったりすることができますか。 (高)タブレットパソコンを使って、文を書いたり、調べたりすることができますか。		98%	(低)児童は、タブレットパソコンでログインしたり、クラスルームを使ったりすることができている。 (高)児童は、タブレットパソコンを使って、文を書いたり、調べたりすることができている。		96%
		3情報モラル	タブレットパソコンの利用を通して、情報モラルを身に付けさせる。	(低)タブレットパソコンを大事に使ったり、他の人が嫌な気持ちにならないよう気を付けて使うことができますか。 (高)タブレットパソコンを使うときに、言葉の使い方や個人情報、使う時間など使い方に気を付けていますか。		96%	(低)児童は、タブレットパソコンを大事に使ったり、他の人の嫌な気持ちにならないよう気を付けて使ったりすることができている。 (高)児童は、タブレットパソコンを使うときに、言葉の使い方や個人情報、使う時間など使い方に気を付けている。		92%
		4プログラミング教育（第2回アンケート時に実施）	情報教育指導計画に基づき、各学年において体験的なプログラミング学習を行う。	プログラミングの授業にすすんで取り組めていますか。		67%	児童は、体験的なプログラミング学習に意欲的に取り組んでいる。		46%
2	多様な人との関わりを大切にした教育の充実	1総合的な学習の時間の充実	児童の課題意識が連続・発展する学習実現に向けて、地域の人、もの、ことを活用して、課題解決型学習活動を工夫する。	総合的な学習の時間には、「どうしてかな(疑問)」「知りたいな。」という気持ちをいつももって学習に取り組んでいますか。 ※低学年は「生活科の学習では」		92%	総合的な学習の時間の学習は、地域の人、もの、ことを生かして探究的な学びが実現されるよう工夫している。 ※低学年は「生活科の学習では」		83%
		2異学年交流	異学年交流を深め、学年の枠を超えて児童が気持ちよく学校生活が送れるようにする。上級生は、自覚をもち手本となる行動がとれるようにする。今年度は、「あいさつ活動」と「校内美化活動」の2点のみ実施する。	(低)他の学年と仲良く活動して、気持ちよく学校生活が送れていますか。 (高)他の学年と仲良くし、下級生のお手本となる行動ができていますか。		91%	学校は、自分の学年だけでなく、他の学年の児童とも仲良くするように指導し、上級生が下級生のお手本になっている。		85%
		3地域、保護者、外部との関わり	各学年で地域人材、外部人材、保護者等と関わる機会を設定し、学習活動の充実を図る。	地域の方や保護者の方、外部から来た先生との関わりを大切にしていますか。		97%	学校は、地域や保護者、外部の方々と連携し、学校教育の充実を図っている。		85%
		4多様な指導体制	高学年における教科担当制を計画的に行う。	(高)担任の先生だけでなく、いろいろな先生が各教科の授業をすることは、自分の学習にとってよいと感じますか。		93%	(高)教科担当制を取り入れた学習指導は、児童の学習に効果的である。		88%
		5言語環境整備	人権に配慮しつつ、児童の手本となる言葉遣いで児童の心に寄り添った指導をする。 (満足度調査設問5を併用)	先生たちは、あだ名や呼び捨てをせず「～さん」をつけて呼ぶなど丁寧な言葉を使って話しかけていますか。		96%	教職員は丁寧な言葉遣いによる児童の心に寄り添った指導に努めている。		91%
3	基礎的・基本的学習の定着を図る取り組み	1学習内容の定着	児童の学力の定着・向上のために実態を把握し、分かりやすい授業を行う。	学校の勉強は分かりますか。		98%	児童は、学習内容がわかり、学力が身に付いている。		94%
		2学習内容の定着	児童の学力の定着・向上のために実態を把握し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る補習授業を行う。	教科書やタブレットパソコンを使い、勉強が理解できましたか。		96%	児童は、教科書やタブレットパソコンなどで学習し、学習内容を理解できている。		94%

重点目標		項目	具体的方策	児童アンケート項目	児童アンケート結果			保護者アンケート項目	保護者アンケート結果		
4	その他の教育活動	外国語教育	外国語教育指導計画に基づいて、コミュニケーション能力の素地を養う指導を実施する。	英語・外国語活動の授業で、英語で話されたことを聞き取ろうとしたり、英語で話そうとしたりしていますか。			94%	児童は、英語で話されたことを聞こうとしたり、英語で話そうとしたりする力が付いている。			68%
		いじめ未然防止	いじめの定義に基づき、学年及び学校いじめ対策委員会で情報共有と対応策の検討・実施をする。生活指導夕会において情報の収集および、必要に応じていじめ対策委員会で対応している。	命を大切にしようと考えたり、人（家族や友達、身の回りの人）の気持ちを大切にしたりして行動できていますか。			97%	児童は、命を大切にしようと考えたり、人（家族や友達、身の回りの人）の気持ちを大切にしたりした行動が取れている。			94%
		運動習慣	学校全体で継続的に運動を行っていきけるよう、縄跳び運動をを計画的に実施する。	休み時間には校庭で元気に遊んでいますか。			82%	児童は、運動を楽しんだり、校庭や公園で遊んだりしている。			89%
		健康への意識向上	食事、睡眠、運動に関する指導を「元気いっぱいカード」や「健康観察記録」を用いて計画的に行い、意識的に生活リズムを整えられるように指導する。	毎日検温をしたり、食事、睡眠、運動に気を付けたりして、生活リズムを整えていますか。			91%	児童は、検温、食事、睡眠、運動に気を付けて、生活リズムを整えようとしている。			92%
		情報発信	教育方針や教育活動の状況など学校の様子をホームページや便り、一斉メールで発信する。ホームページの情報発信は全教員が関わり週2回以上行う。					ホームページや便り、一斉メールなどで学校の様子が分かる。			88%
5	学校満足度	1 学校が好き		あなたは、学校が好きですか。			88%	子どもは、学校が好きである。			95%
		2 教育内容は充実している						学校の教育内容は充実している。			92%
		3 落ち着いている		あなたは、学校できまりを守って、落ち着いて学習していますか。			95%	学校は秩序があり、子どもたちは落ち着いて学習している。			95%
		4 地域の力を生かしている		地域の人たちは、学校の学習や見守りに協力してくれていると感じますか。			95%	地域の人や施設を教育活動に生かしている。			84%
		5 学校の対応		先生たちは、ていねいに話をきいてくれていると感じますか。			98%	教職員は、誠実に子どもや保護者に接している。			98%
6	の習熟度 指導方針 の式目 改善 の度 た別 め学	算数習熟度別指導		グループに分かれてする算数の学習は、学習しやすいですか。			85%	算数科の学習を習熟度別に行うことは、児童の学習内容理解に役立っている。			98%

学校評価アンケートの結果について

2学期の学校評価への回答ありがとうございました。児童アンケートでは、19項目の質問の中で、肯定的な評価が8割を超えたのは18項目でした。8割を超えなかった項目を見てみると、「プログラミングの授業にすすんで取り組めていますか。」は肯定的な評価が67%でした。これは、プログラミングの学習を 3学期に実施予定の学年があることが原因として考えられます。1学期に肯定的な評価が78%だった「タブレットパソコンを使って、自分の考えを伝えたり、ほかの人と交流することができますか。」は肯定的な評価が89%になり、11%向上しました。2学期にタブレットパソコンを活用するだけでなく、相手に分かりやすく伝えたり、ほかの人と交流したりすることも意識して指導をしたことが原因だと考えられます。保護者の皆様のアンケートでは、1学期に掲げた項目のすべてにおいて肯定的な 評価が1学期より上回りました。一方、保護者の方の肯定的な評価が相対的に低かった項目は、「タブレットパソコンを活用した教育活動」、「プログラミング教育」、「外国語教育」でした。これらの教育活動は、学校公開日やホームページを通じ、今後も教育活動を地域や保護者の方に発信していきます。